

令和6年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第4回議事録（要旨）

日 時：7月22日（月）午後6時15分～8時30分

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員9名

（中里委員長、横山副委員長、内田委員、木川委員、牛田委員、木岡委員、金子委員、菊竹委員、北山委員）

事務局：3名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業について【資料1】

- ・事務局より、夏季平和事業について説明。

【副委員長】当日の役割分担を行う。

8月17日（土）映画「ラーゲリより愛を込めて」上映会

司会：金子委員

受付：横山副委員長、木川委員

誘導：高橋（淳）委員、内田委員、牛田委員、田村委員、北山委員

8月18日（日）絵本「麦畑になれなかった屋根たち」朗読と

作者 藤田のぼる氏による講演

挨拶：中里委員長

司会：牛田委員

受付：横山副委員長、木川委員

誘導：高橋（淳）委員、内田委員、木岡委員、北山委員、
高橋（智）委員

（2）平和の日イベントについて【資料2-2】

- ・事務局より、平和の日イベント実施案について説明。
- ・委員よりご推薦いただいた講師について説明。

【副委員長】先月、欠席したため確認するが、先月の実行委員会の段階で質問や意見はある程度出尽くしてるか。

【事務局】今と同じように、追加の新しい提案の説明をいただいた。そこまで意見は出ていなかったかと思う。

【委員】どのように決めるか。たくさん並んでる中で1人に絞っていくことになるが、私が懸念するのは、集客力があるということを打ち出していくと、1位2位3位を決めた時に、著名な人に票が集まると思う。夏季平和事業は、講演とイベントに分けたため、著名な人にどうしても票が集まった傾向にあったかなと思っている。その決め方だと、余計な心配かもしれないが、結局依頼をしても駄目になってしまう可能性もある。金額の問題も含めて、難しいという感想がある。自分のポリシーとしては、武蔵野から発信する目的がある。候補の方もそ

れぞれみんな、市と関わりがあつたりすることはわかるが、今年が市への初空襲から80年であり、日本で最初に空襲があつたということも考えて、その点を重視したほうがいいのではないかという意見を持っている。最初に上げているお二方は、失礼だがそんなにネームバリューがあるわけではないし、工藤先生も、その世界では、有名な日本全国で知られた方だが、学者さんだし、派手な主張をしてるということでもない。順位付けをしたときに、あんまり浮上しないかと思う。私としては、そういうことをぜひ考慮していただきたいという思いがある。

【副委員長】他に意見等あるか。

【委員】基本的に、確かに候補者を並べてみると難しい。決め方については、コンセプトを先に決めてからの方が良いのではないかというのは、わからなくはない。もう1つ、この前から政治的な団体に属している方はいかかなものかという話を私はしてきたが、その線引きが難しいという事務局のコメントがあつた。改めて考えてみたところ、それはそうだと思った。武蔵野市生涯学習スポーツ課から、令和6年度武蔵野市生涯学習事業補助金の審査において、後で紹介する「めぐみへの誓い」の上映会に関して、社会教育委員の意見が出ている。支出の条件として、「特定の政党の利害や公の選挙に関して特定の候補者を支持し、またこれに反対する政治活動に関する内容を含まないよう留意すること」と書いてある。これは線引きとして良いと思う。要するに講演の中で、そういうことはしないでいただきたいことの要請を受け入れてくださる方というのを1つの線引きにする。その人がどのような政治的スタンスを持ってるか、この人はどこと繋がってるのかは、いろいろあるわけだから、当初はそこにこだわった部分もあるが、現実的に技術論的に難しいという話であれば、公金を使ってこういう話をするのはやめてほしい、という線引きをするべきではないのか。だからそういう形のガイドラインというのを考えるべきではないか。前の話を蒸し返すようで恐縮だが、憲法月間記念行事の出演者にもこういう話をしておけば、問題にはならなかったと思う。ならば受けられませんか、そういう話になったかもしれない。そういうことを踏まえて、1回検討するというのも必要なのではないかと思う。先ほどの委員の提案がどちらかというところとポジティブなスタンスで、ポジティブに選んでいったらどうかというご提案だとすると、私はガイドラインを立てて、外れそうな人はこの場では下げた方がいいのではないか、といったスタンスだ。そういうところも考慮に入れて、もう少し議論を深めていただきたいと思う。

【委員】この中からどう決めていくかは非常に難しいと思う。他の委員の方がおっしゃったように、知名度はどうしても影響するため、とても悩ましいと思う。1つ気になったことだけ意見を述べても良いか。候補について、私がよろしくないと思う方について。

【副委員長】良い。

【委員】挙がっている候補の1人だが、私は引っ掛かりがある。1.2.3位と投票で決めていくと、抜群に知名度があるため上位に来ると思う。私はこの候補者とは考え方が真逆にある人間で、親から戦争体験を聞ける最後の世代だという話については共感するが、気になっている。具体的な話をすると、ここ半年間、X

(旧ツイッター)で見ていて偏った意見を述べられていると思う。特にそんな問題じゃないだろうと言われるかもしれないが、その点と点を結ぶと大分偏ってるなと思う。1個1個を見ていけば、問題ないと思うかもしれないが、私からするとすごく偏った人に見え、しかも知名度があって影響力が強いところはあるため、怖いという印象がある。せっかくご推薦いただいたのに申し訳ないが、怖いという印象はある。

【副委員長】個人の価値観の違いだから、そう思うのだと思う。どちらかという、私はこの候補者に共感すると思える部分はあるため推薦した。

【委員】先ほど他の委員の方から、ガイドラインという話があったが、私も必要なと前回、前々回ぐらいから考えていたが、それで言うならば、むしろ、非核都市宣言平和事業実行委員会という、この委員会の目的に沿って、核兵器廃絶とか戦争には賛成ではないという、基本的には日本国憲法の平和主義を守るような、もしかするとそんなに明確ではないかもしれないが、基本的に非核平和ということが実行委員会の目的で、被爆者団体の代表の委員もおられる。世界連邦という平和団体の方もいる。もちろん公募委員として広く市民から意見をいただくということはあるが、バランス論というところを委員の方がおっしゃるが、私はそのバランスは形式的なものであって、基本的にこの委員会の目的は、非核平和だと思う。その基準に沿って、考えるべきではないかというのは、第一義的な条件だと思う。その時に、政治的な主張ということが毎回話題になるが、当然非核平和ということになれば、政治的な主張になったりすることがあり得ることで、私は学校の教員をしているので、余計にその政治的な中立性ということについては神経を使う。学校と市民活動とはまた別ではあるが、右とか左とかバランスを取るということが中立というのは、全然違うと思っている。むしろ非核平和という目的からすれば、世の中からすれば偏ってしまうのはやむなしと考えていて、それに積極的な主張と行動をされていて、それが市民にとっても有益であるという人を推薦するのがガイドラインとしては基本線かと考えている。今年度になってから、かなりバランスをもって、ということもおっしゃられるが、私はその基準とは違う考えである。何が言いたいかということ、もちろん公金を使って、市の主催者として名前を調べて、ある程度公正性が求められると思うが、目的はやはり非核平和と思っている。それに適った人であれば良いと思う。候補者についての話ではないが、ガイドラインの話が出されたので意見を述べた。

【委員】委員が最初におっしゃったのは、候補の数も多く、これを単純に投票で決めると、知名度の高い、候補者ばかりが浮上することについて、それが正当な決め方かという意見と、それから、今のご意見は、そもそもこの実行委員会自体の目的性から考えたら、といった整理についておっしゃったんだと理解した。他委員はどうか。

【委員】知名度の高い方が、選ばれる可能性が高いのではないかという話があったが、そこは必ずしもそうでもないのではないかと思う。委員がおっしゃったように事業の目的に沿った方が選ばれたら良いと思うが、この方が事業の目的に沿ってるかどうかというのは、人それぞれ見方が違うのではないかと思う。元に戻るが、必ずしも知名度が高い人が選ばれるとは限らない。順位をつけて投票する

という形でいいのではないかなと思っている。

【委員】そもそもこの事業の目的を考える上で、非核平和への道には、いろんなプロセスや考え方があるという事実を踏まえないといけない。要するに、それは日本国憲法の平和主義を貫くことによってこそしか実現しないという方もいれば、それでは駄目で、もっと現実的な安全保障政策を積み重ねていかないと、信頼醸成に至らないというふうに考える方もおられるということだ。現実主義的なアプローチと理想主義的なアプローチで、多分なかなか言えないところだ。このように話が大きくなってくると、それぞれの政治信条が垣間見える議論になっていくと思うが、原点に立ち返るということ言えば、武蔵野市の戦争、空襲というところに絞り込んで話をできる人という形で考えていくのも1つの手なのかなと思う。というように考えてみると、最初の高野さんはいいかなと思う。さらに言うと、市の関係者なので、高額であることはない。外部の人で、政治的なスタンスがはっきりしてる人を、私はどちらかというところと保守的と言われる人を候補に挙げたが、そうするとそれはそれで問題が出てくるのかもしれない。バランス論が良くないと言う意見を聞くが、平和を本当に実現しようと言うのであれば、人選で分断を招くようなことをしてはいけないと思う。誰が見てもそうですね、という方、例えば市のふるさと歴史館の学芸員の方などを選べば、誰もそれに文句は出ないかなとも思う。そういうことでいうと、自分が挙げた人間とは違う方ということになるが、今の議論の話を聞いていると、歴史館は武蔵野市の戦争をテーマとして取り組みを重ねていて、今年10年目の節目でもあるというので悪くはないと思う。また謝礼が20万30万あるいは80万という話にはならないので、よろしいのかなという考え方も出てくる。折衷案みたいな話だが、例えば、私が今関わっている「めぐみへの誓い」という映画も北朝鮮による拉致事件に関する映画だが、これについてもいろいろな意見がある。市民の中にもいろんな考え方をもつ方もおられるわけで、いろいろ議論が分かれるところではあるが、そういったことをやる。これは民間の事業に市から補助金をいただく形になるが、この平和事業の場合、市の主催事業であるため、そういう軋轢を無しにするのはできないと思うが、少なくするような発想というのは必要なんじゃないかと思う。

【副委員長】他に意見のある方はいるか。大きく分けて、決め方のプロセスとして、いつものこのやり方で良いのかという議論と、それからどういう人がふさわしいのかという話と、大まかに言うと2通りの話が出ている。

【委員】どちらにしても先方の都合のことは聞かないといけないと思う。

【副委員長】最後は都合を聞かないといけないが、都合を聞く前に、この会として誰から順番に聞いていくかということは、今日決めないといけない。

【委員】夏季平和事業で断られた方はもう駄目なのか。

【副委員長】駄目ではない。8月の企画の際、スケジュールが合わなかったため、推薦いただいた委員の方が、もう一度11月にスライドして提案いただいた。11月のことに関してはまだ白紙である。

【委員】投票でいきましょう。

【委員】この人が賛成とか反対だとか踏み込まない形で今話をまとめるような方向に進んでいるので、私としても蒸し返すことはしたくないが、高野さんに賛成の意

見もあったが、私も個人的には高野さんは武蔵野の地域で活動されている方なので、良いのではないかと思う。2番目に挙げてる工藤洋三さんは、米軍資料において、原爆投下や日本の空襲の詳細な資料の研究者としては、日本で第一人者と言われる方であるため、投票するのであれば、その点を考慮していただければと思う。

【副委員長】 このまま話をしていると、堂々巡りではあると思う。知名度の高い人を呼んで集客につなげたいという価値感も1つだし、実は知る人ぞ知るみたいな人の話を聞くのも、そういうアプローチで平和に関する活動をしてる人がいるんだということを知ることにも勉強になる、というのも1つの考え方だし、銘々が思う考え方に基づいて、例によって1. 2. 3位をご記入いただいて、事務局に回収していただくという形をとりたいと思う。良いか。

【委員】 前年度までに上がっていた意見も選択肢に含まれるか。

【事務局】 特にどうしてもというご意見がなければ候補に入れなくて良い。最初は候補の人数が少なかったため、参考としてあげた。

【副委員長】 事務局が、前年までにはこんな意見が出ていた、という参考情報として書いてくれているため、ことさら除外しなきゃいけない理由はないと思うが、せっかくであれば、委員の中の誰かが熱を持って候補者から選ぶというのも良いのではないかと思う。そこは各自の判断に任せる。

【委員】 もし、上位1. 2. 3位の票が多く他が少なかった場合、決選投票があっても良いのかなと思う。

【副委員長】 まず、1度投票し集計したいと思う。

【事務局】 委員の皆様には、事前に資料2-2の候補者一覧をお送りしていたが、本日欠席された方から、投票になった場合は、この方に投票したいという意見をいただいているため、加えたい。皆様も匿名であるため、どなたからというのは伏せたいと思う。

【事務局】 投票の結果（優先順位）

- 1 高野 弘之さん
- 2 工藤 洋三さん
- 3 江崎 道朗さん

【副委員長】 1番手が高野弘之さん、2番手が工藤洋三さんは確定で良いかと思うが、3番手の候補者で第2次投票をするかどうか。

【委員】 お二人のどちらかで決まるのではないか。

【事務局】 4番手となった方については、昨年も候補に挙がっていたが、その時1. 2年先までスケジュールが埋まっているという回答があった。ご参考まで。

【副委員長】 では、1. 2. 3位の順番で、11月の企画に関しては事務局から交渉にあたっていただくということで良いか。

→賛同

(3) 研修会について【資料3】

- ・事務局より、研修会について説明。
- ・委員よりご推薦いただいた講師について説明。

【委員】 日程については、どうなったか。

- 【事務局】前回の実行委員会で、10月上旬というところまで決めていただいた。あとは候補地を決めていただきたい。
- 【委員】意見だが、たくさん候補が出ているが、個人的にはどこも興味深いと思うが、遺跡といっても、遺跡の意味がそれぞれ違うところで、それを見る人によって、同じ遺跡でも見方が違う。皆さんで研修に行くという意味では、最初の話も関わってしまうが、非核平和というところに結びつけられるのが良い。どれも結びつくが、例えば月に1回しかやっていないため難しいと思うが、浅川地下壕は、1度見ていると良いと思うので推薦したい。
- 【副委員長】月に1回しか開放してないということか。
- 【事務局】そうである。令和6年10月以降の見学日は未定である。
- 【委員】日帰りということで良いか。バスだと思うが、例えばこの中で一番遠いところでいうと、去年の横須賀とか、東松山も比較的道路事情が悪いと理解はしているが、このあたりは時間がかかるような感じはする。何時出発で何時帰宅なのか。
- 【事務局】去年は猿島に行った時は、9時集合の夕方5時に戻ってきたと思う。
- 【副委員長】横須賀で、2時間半くらいかかった。
- 【委員】なぜこんなこと言ったかという、上がってる中で一番遠いのは、私が出した茨城県土浦だと思う。常磐道の近くであるため、外環道に乗れば都心は回避して、練馬あたりから乗り、土浦さくらインターで降りるといったスケジュール感なのかなと思う。それがあって時間を伺った。
- 【委員】新宿区の平和祈念展示資料館やしょうけい館は、近くて個人でも生きやすいところかなと思う。遠いところが良いというわけではないが、最後に委員があげられたところは、事務局長という方が説明するといった感じになると、これも興味深いことではあるが、私はあまり賛成しない。埼玉県だから、組み合わせるといってお話があったが、あまり賛成ではない。
- 【副委員長】例えば私は資料館みたいなところに行くと、じっくりとみたいタイプではある。小一時間と云われたら、何か物足りない感じがある。だったら、1ヶ所でじっくり居させてくれても全然良い。その辺は意見が分かれると思う。
- 【事務局】浅川地下壕について、見学は月に1回だが、案内を見たところ、LEDライト、大型懐中電灯、長靴または濡れても構わない運動靴、軍手、汚れてもよい服装とある。ヘルメットだけは用意されるようだが、行けそうかどうかというところもあわせて考えていただければと思う。昨年度猿島に行って、途中で待機の方もいらっしまったため、全部回れるかどうかというところもあるかなと思う。
- 【委員】質問だが、防衛省の市ヶ谷地区というのは、見学の可能性として、定員や曜日が決まっているというのはあるのか。
- 【事務局】見学ツアーは定期的に行っている。本人確認のため、免許証かパスポート、マイナンバーカードの提示が必要とある。
- 【委員】事前に出すとなると、市が取りまとめてという話になるかもしれない。
- 【委員】防衛省市ヶ谷地区としょうけい館を組み合わせるとかは良いと思う。
- 【事務局】せっかくなので、個人で行ってもなかなか入れないところという考えはあるかなと思う。

- 【委員】個人で行って入りにくそうな場所は、浅川地下壕や日吉台地下壕などか。
- 【事務局】皆さんでお選びいただければと思う。
- 【副委員長】常時開放してるわけではない場所などのことか。興味深い場所が多いとは思いますが、行きたいところを順番に、1番2番3番と順番をつけたいと思う。場所の絞り込みからしたい。この場合、例えば1位と近いけど、2位でも3位でもないような場所が4位以下にあったりしたら、それセットにしても良いかという議論は順番が見えてから話したい。10月前半が良いという話は、検討した結果ということで良いか。
- 【事務局】10月前半で考えるが、空いている日なども調べながら決めたい。
- 【副委員長】ちなみに平日のつもりか。
- 【事務局】場所によっては土日しかないところもあるため、そこは調整が必要。道の混みかたを考えると土日ではない方が良いかと思う。
- 【委員】渋滞にはまるということか。
- 【事務局】マイクロバスの都合もある。
- 【副委員長】土日の方が料金も高いかと思う。
- 【事務局】投票の結果（優先順位）
- 1 防衛省市ヶ谷地区（同率）
 - 1 浅川地下壕（同率）
 - 3 雄翔館（予科練記念館）
- 【副委員長】防衛省市ヶ谷地区と浅川地下壕が同点で1位、これはどちらか片方しか行けないため、この2つを二者択一で投票し直すとして良いか。
- 【事務局】浅川に関しては、見学日が決まっている。まだ予定が出てないが、そこを確認した上で、こちらの場合はこの日、こちらの場合はこの日といった形で、条件とかも含めて確認してご提示して、最終的にメールになってしまうかもしれないが、決めていただく方がいかなと思う。
- 【副委員長】わかった。では、そういう手順で大丈夫か。8月は夏季平和事業があり、ミーティングとして集まるのは、9月になるため、9月に10月のスケジュールを決めると、ギリギリになってしまうため、メール上でやりとりする。浅川地下壕ならこんな、防衛省市ヶ谷地区ならこんなという情報をメールで伝えていただき、メール上で判断して決めていくという方向でいかがか。
- 賛同
- ちなみに浅川地下壕の場合に、セットにできそうな場所はないか。防衛省市ヶ谷地区の場合だと、例えばしょうけい館は近そうかと思う。
- 【委員長】浅川地下壕は、見学時間がそんなに長くないと思う。
- 【副委員長】浅川地下壕自体は、正味かかる時間はそんなに長くないとは思いますが。ただ往復はかかる。見学する日程は月に1度しかない。
- 【委員長】短いのではないか。
- 【副委員長】向こうが設定する時間がね。
- 【事務局】浅川地下壕が通常やってる見学会だと、9時半に、高尾駅に集合して、そこから出発して、12時過ぎごろ現地解散という形になってるため意外に長い。ただ、そういう形での見学にのれるのかどうか、もしくは別の日等で調整が可能なのかを確認させていただく。

【委員長】歩いて行くのではないか。

【副委員長】アクセス性も含めて、調べていただきたい。そのようなことなので日付がピンポイントで決められる状況にはないと思うが、引き続き10月前半を一応目安にしてということではよろしいか。研修会について他にご意見がなければ、最後その他について事務局からお願いしたい。

(4) その他

・各委員配付資料について説明。

【副委員長】8月17日と18日の現在の予約状況を確認したい。

【事務局】現段階では両日あわせて30名程度となっている。8月1日号市報の1面に大きくのせるため、そこで伸びてくれると良いと思う。

【副委員長】ちらしでは8月5日締め切りとなっているが、定員に空きがある場合は、イベント当日まで申し込みを受け付ける態勢ではあるのでよろしくお願いしたい。

・次回の委員会は、9月10日(火)午後6時15分～ 武蔵野芸能劇場で開催する。

・事務局より、夏季平和事業ちらしの配布依頼についてのお願い。

3 閉会